

意見交換の概要

■開催日：令和元年 10 月 29 日（火） 10：00～11:30

■会 場：錦町市民センター 1階 多目的ホール

■参加者：90 名

Q. 質問・意見

レトロ地区が発展する中、栄町銀天街は空き店舗が多い状況である。これらを活用し、様々なイベントなどができないか。

A. 市長等の回答

まずは、商店街をはじめ地元の皆さんにご提案いただき、行政がバックアップしていく形が良いのではないかと考える。

屋外でのアート作品展示なども話題になっており、アートの力を活かしたまちづくりについても考えてまいりたい。

Q. 質問・意見

大里の赤煉瓦プレイスの活性化を図るために始めた「高齢者の歌声広場」などの高齢者が交流できる場を、門司から発信するとともに、他区にも広げていただきたいので、行政にも力添えいただきたい。

A. 市長等の回答

前向きな活動に対しては、市としても多くの方々に知っていただけるよう、サポートがどうできるかも含めて、努力をさせていただきたい。

門司区

Q. 質問・意見

門司区の高齢化を改善するため、若者を門司に誘致することが必要である。そのため、門司区に大学を誘致してほしい。

A. 市長等の回答

大学の運営は場所や教授の確保などの問題もある上、文部科学省からも学科の新設にあたり、将来の就職見込み等様々な調査項目がある。これらの課題に対して、現状は止まっているところではあるが、文化芸術、学校、若者定着の観点から、ご指摘のあったことはよく記憶にとどめて、今後の検討にさせていただきたい。

Q. 質問・意見

美術館の観覧料はこれまで高齢者は無料であったが、2割引きとなった、せめて、半額の減免にしていただきたい。

A. 市長等の回答

市の財政運営上、公共施設の老朽化に伴う今後の維持管理費用が課題であることから、市全体の施設の料金を見直したものである。高齢者の皆様には負担増となるが、美術館をさらに魅力的なものとなるよう取り組んでいくため、ご理解をいただきたい。

Q. 質問・意見

思い出の多い着物を廃棄せずに、再利用するなどの活用策を検討していただきたい。

A. 市長等の回答

東アジア文化都市では東京オリンピック・パラリンピック開催の夏にあわせ、夏のウェルカムプログラムで伝統芸能をテーマとしたイベントを検討している。その事業の中で着物が活用できないかも含め、今後の検討課題としたい。